

(研究機関の名称：広島市立舟入市民病院)

現在、当院薬剤科で実施している研究へのご協力をお願い

1.研究課題名：五苓散坐薬の調整方法とその臨床効果についての研究

2.対象となる方

2023 年 10 月以降に当院小児科外来にて五苓散坐薬注腸、五苓散坐薬投与、ナウゼリン坐薬投与のいずれかの処置を受けた患者さん

3.研究の目的

五苓散は嘔吐を伴う小児の胃腸炎に使用されていますが、頻回に嘔吐している患者さんにとって内服することは困難です。2025 年より当院では簡易に投与する方法として五苓散坐薬を調製することにしました。五苓散坐薬は、院内製剤で有り実臨床でのデータに乏しいため、ナウゼリン坐薬や五苓散を注腸する場合と同等の効果が得られるかどうか検討を行います。

4.研究機関

2023 年 10 月～2025 年 10 月（予定）

5.研究に使用する情報の種類

診療情報等：診断名、年齢、体重、性別、臨床症状、検査値（血糖値、血中ケトン）、救急外来の場合トリアージ状況、急性胃腸炎に関わる治療薬の使用状況・投与時の反応・副作用等、当院滞在時間、診療の転帰

6.研究組織

当院のみの研究になります。

7.研究責任者

広島市立舟入市民病院 副薬剤長 安永顕子

8.お問い合わせ先

この研究は広島市立舟入市民病院倫理委員会の承認を得て実施しています（承認日 2025 年 3 月 17 日）。この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究について質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒730-0844 広島市中区舟入幸町 14 番 11 号

電話 (082) 232-6195 (代表)

広島市立舟入市民病院 薬剤科 安永顕子